



収穫後の次年度に向けての 取組み

●多年生雑草の防除

防除のポイント

近年、圃場に多発している多年生雑草のオモダカ、クログワイですが、稲刈後も生育を続け、地中で塊茎を形成し肥大させることで翌年の発生源となります。このような難防除雑草を減らすためには、本田で効果のある除草剤の散布に加え、収穫後に塊茎を減らす対策を行います。



オモダカ

クログワイ

対策①「秋耕し」

塊茎は乾燥や寒さに弱いため、秋耕しをし地中にあった塊茎を地上に出して枯らします。完全に無くなるわけではありませんが、翌年の塊茎の発生量を減らすことができます。

対策②「刈跡除草剤散布」

収穫後、茎葉から根まで浸透移行して地下部まで枯らすことのできる除草剤(ラウンドアップ)の散布をします。塊茎を肥大させず枯らすことができれば、翌年の発生量を減らすことができます。

除草剤ラウンドアップマックスロードの水稻刈跡散布のポイント

50倍液を散布してください。

107㎡あたり
原液:1000ml
水量:50ℓ



塊茎寿命：オモダカ1～2年
クログワイ3～5年

こまめに防除対策を継続実施し、雑草発生密度を下げるのが重要です。秋には、お値打ち価格の除草剤キャンペーンがあります!!

●土壌改良資材の散布

土壌改良資材の 効果

アルカリ補給効果 + リン酸補給効果 + ケイ酸補給効果

分解促進

pHの上昇

カドミウムの
吸収抑制効果

生育促進
窒素吸収量の促進
草型改善
根量確保
秋落ち軽減

硫化水素・有機酸の減少
による根活力向上

病虫害に
強くなる!

倒伏軽減

受光態勢がよくなり、
光合成が盛んになります。

JALレーク伊吹の土づくり資材
田華の豊稲の粒状(左)と砂状(右)



基準施肥量

60kg～100kg/10a
(圃場の土壌pHに応じて
施肥量を調整して下さい。)

詳しくは、営農担当者まで
お問い合わせ下さい!!

品質向上と 安定生産を 目指す!!